

平成23年度（2011年度） 学校評価表

【1】 学校教育目標と重点目標 「明るい学園 美しい心」

学校教育目標	(1) 人格の形成 ・自然に親しみ、生命を守り育てる農業教育を通して、知・徳・体のバランスの取れた豊かな人間性を育てる。 ・個々の生徒の持つ能力を發展させ、自主的精神と実践力に富んだ、創造性溢れる人格の形成を目指す。
	(2) 社会人としての資質の向上 ・自らに誇りを持ち、平和で民主的な社会を目指す社会人としてふさわしい資質を養う。
	(3) 職業観の確立 ・一般教養やマナーを身につけさせると共に、農業や勤労体験を通して、正しい職業観を身につけさせる。
中・長期的目標	(1) 農業の持つ教育力を通して、体験的に自然環境や生命の大切さを身につけさせる。 (2) 地域に根ざした信頼される学校づくりをすすめる。 (3) 自ら学ぶ力を身につけ、進路希望が実現するように支援する。 (4) 社会常識やマナーを身につけ、社会で自立できる人材の育成に努める。
今年度の重点目標	(1) キャリア教育について理解を深め、さらなる推進を図りながら、進路実現に向けた支援を行う。 (2) 学力向上、学力保障の体制を整える。 (3) 明るい学校を目指すため、積極的に活動を展開し、コミュニケーション力を養成する。

【2】 今年度の重点活動及び総括

重点目標	該当部署	評価項目（重点活動）	評価の観点（具体的活動内容）	自己評価	自己評価に関する分析（来年度に向けて）
キャリア教育・進路指導支援	(1) 農業科全体	キャリア教育の充実	10のコースが特色ある授業を展開し、プロジェクト学習、校内及び校外実習、資格取得、地域交流などを通して、勤労観・職業観及び職業人としての基礎的な能力や資質を身につけるよう指導する。		
	①園芸科	勤労観の養成	栽培の基礎知識と栽培技術を習得させ、課題解決に向けた学習指導をする中で勤労観を養う。		
	②食品科学科	地域産業の理解と推進	特色ある地域資源を積極的に活用し、商品開発に向けた意識を深める。		
	③農業経済科	資格取得の推進と積極的研究活動	簿記検定の全員合格を目指す。研究成果を積極的に地域に発信し、発表能力を身につけさせる。		
	④造園科	職業意識の深化	地域と密着した特色ある授業を展開する中で、職業に対する意識を深めさせる。		
	進路指導係	キャリアウィークの有効活用	キャリアウィークの内容を検討し、3年間を見通したキャリア教育計画を立てる。		
	教務係	キャリア教育推進のための支援	キャリアウィーク特別時間割の作成に当たって、キャリア教育担当者・学年・教科等との調整を行い円滑な推進を支援する。		
	1学年	自己理解・自己管理能力の育成	HRや宿泊合宿などにおいて自己を見つめる中で、基本的な生活習慣や忍耐力を身につけさせ、職業観を育成する。		
	2学年	課題対応能力の育成	夏休み・春休みでのインターンシップに参加させながら、情報収集力や自己改善力を育成する。		
3学年	人間形成・社会形成能力の育成	一人一人に合った進路指導を行いながら、社会人としての人格を形成させ、将来実行力を育成する。			
(2)	国語科	「話す・聞く」力の向上	きちんと教科書を読ませ、はっきりとした言葉で答えさせる中で、「話す・聞く」力の向上を図る。		
	地歴公民科	授業での学力向上、学力保障	授業内容、授業方法の工夫をしながら、基礎知識を理解させ、定着を図る。		
	数学科	授業内容の定着、個別指導の徹底	独自の教材を研究し、補習や個別指導を徹底して行いながら、授業内容の定着を図る。		
	理科	授業内容の定着、学力保障	中学の学習内容を含めた授業の内容、指導方法を工夫し、基礎知識の定着を図る。		

(2) 学力向上・学力保障	英語科	音読機会の増加と基礎知識の定着	出来るだけ音読を取り入れることで、学習した基礎知識の定着を図る。		
	芸術科	授業内容の定着	生徒一人一人に応じた具体的な個別指導を行い、授業内容の定着を図る。		
	保健体育科	基礎体力の向上	体力作りのための運動を毎時短時間行い、基礎体力の育成を図る。		
	家庭科	基礎的な技術・知識の定着	知識として学んだことを、実習を通して身につけられるよう働きかけ、基礎的技術の定着を図る。		
	1 学年	朝学習の定着	基本的生活習慣を整えさせ、学習する態度を養う。		
	2 学年	朝学習の継続	やる気を持って取り組ませながら、基礎学力の向上に向けて、学習習慣の継続を図る。		
	3 学年	朝学習の3年間継続	生徒にやる気を持って学習に臨ませる働きかけをし、今後に生かせる力を養う。		
	学習指導係	学力向上・学力保障の体制作り	「学ぶ姿勢」づくりや「基礎学力」をつけるための方策を考え、実施する。		
	生徒指導係	学ぶ姿勢、学習習慣をつける指導の徹底	特に1 学年において、学年および学習指導係と連携し、組織的指導を実施する。		
	教務係	朝の学習、学び直しの体制作りの支援	学習指導係が、朝の学習および学び直しについて体制を作り推進していけるよう支援する。		
(3) コミュニケーション能力養成	1 学年	ルールやマナーの確認と指導の徹底	「身だしなみを整える、挨拶する、連絡する」を徹底し、基本的生活習慣を身につけさせる。		
	2 学年	クラブ・委員会活動への積極的な取り組み	クラブ活動、生徒会活動の積極的な取り組みにより、来年度の農業クラブ全国大会長野大会に向けてリーダー性を養う。		
	3 学年	明るい挨拶と社会人に向けた人材育成	一人一人が大きな声で挨拶をし、コミュニケーションをとらせ、社会人としてふさわしい資質を養う。		
	生徒会	地域活動への積極的参加	地域活動（園芸太鼓、ボランティア活動、美化活動など）に積極的に参加しながら、自ら計画できる力を養う。		
	農業クラブ	コミュニケーション能力の向上	校外イベントに積極的に参加し、農業クラブをPRしながら、コミュニケーションの向上を図る。		
	農業科全体	地域に開かれた学校づくりの推進	専門高校としての特色ある事業を展開し、地域との交流を深め、開かれた学校づくりに取り組む。		
	生徒指導係	学ぶ姿勢、学生としてのとるべき態度の指導強化	礼節のある身だしなみとコミュニケーションをとるよう指導する。		